



あま市立
宝小学校
TAKARA ELEMENTARY SCHOOL

学校だより

たから

R7.12.15 発行

学校教育目標

芽ばえ輝く ～ 未来を拓く 5つの芽 ～

元気な子(たくましさの芽)

よく考える子(学びの芽)

思いやりのある子(優しさの芽)

よく働く子(努力の芽)

きまりを守る子(信頼の芽)

もうすぐクリスマス

冷たい風が頬をなでるたびに、校舎の中のあたたかさが一段と心地よく感じられる季節となりました。街並みにイルミネーションが灯り始め、子どもたちも「あと少しでクリスマス！」と胸を弾ませています。学校でもツリーや冬の飾りが登場し、教室にはそっとワクワクが広がっています。

クリスマスは家族で過ごす時間が増える季節でもあります。ツリーを出したり、相談しながら飾りをつけたり、温かい食卓を囲んだりするひときは、子どもたちの安心感や自己肯定感につながります。「できたよ」「手伝うよ」という声が聞こえてくるのも、この季節ならではの光景です。こうした家庭での経験は、子どもたちが日常生活でも意欲的に動く力の源になります。

さらに、クリスマスは1年を振り返る良い機会にもなります。今年、がんばったこと、できるようになったこと、友達や家族に助けてもらったこと…。振り返りは、次への意欲を生み出す大切な習慣です。学校でも、今年の自分を振り返ることや冬休みのめあてづくりを通して、子どもたちが前向きに自分自身と向き合えるよう支援していきます。

クリスマスはただの行事ではなく、思いやり・感謝・努力の積み重ねが輝く季節です。残り1週間、学校でもご家庭でも、子どもたちの心がぽかぽか温まるような関わりを大切にいただければと思います。

どうぞ皆さま、心あたたまるクリスマスをお過ごしください。



校舎を歩いていると、あちこちで子どもたちが作ったクリスマスの飾りが目に入ります。手書きのツリー、折り紙のサンタクロースなど、心のこもった飾りつけには、子どもたちの「楽しみたい」という気持ちが表れています。教室や廊下が少しずつ彩られていく様子を見ると、季節の訪れをみんなで楽しんでいることが伝わってきます。寒さが深まる中でも、子どもたちの創意工夫と笑顔が校舎を温かく照らしてくれています。

